

あいかわ 議会だより

第185号

令和7年5月15日発行

しょうぶの里

下谷したや

- ・各会計の新年度予算を決定…………… P.2
- ・物価高騰等対策事業に係る補正予算を可決
～地域振興券の配布等、支援事業を実施～…………… P.4
- ・国へ意見書3件を提出…………… P.8
- ・意見交換会開催のお知らせ…………… P.17

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP17をご覧ください



〈第1回2月臨時会・第1回3月定例会〉

令和7年5月15日

2025
愛川町議会

令和7年第1回愛川町議会「2月臨時会」は2月10日に開催され、補正予算に関する町長提出議案1件を審議し、可決しました。
また、令和7年第1回愛川町議会「3月定例会」は、3月3日から3月27日まで、会期25日間（本会議開催日6日間）にわたり開催され、条例の制定等をはじめ、新年度予算や補正予算、事件議案など、合計30件の議案等（町長提出議案23件、議員提出議案5件、陳情2件）を審議し、計27件の議案を同意もしくは可決、陳情2件を採択しました。

3月定例会

町制70周年記念事業を実施！
総額275億3千364万4千円
令和7年度当初予算を可決

《令和7年度各会計予算額》

会計名		予算額	構成比	前年度比増税率
一般会計		154億円	55.9%	6.2%
特別会計	国民健康保険	45億500万円	16.4%	-1.1%
	後期高齢者医療	7億2,800万円	2.6%	6.0%
	介護保険	37億1,300万円	13.5%	1.1%
	小計	89億4,600万円	32.5%	0.3%
企業会計	公共下水道事業	20億7,364万4千円	7.5%	2.9%
	水道事業	11億1,400万円	4.1%	2.5%
	小計	31億8,764万4千円	11.6%	2.7%
合計		275億3,364万4千円	100.0%	3.8%

令和7年第1回愛川町議会2月臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
2	10	月	本会議	町長提出議案説明・質疑・討論・採決

令和7年第1回愛川町議会3月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
3	3	月	本会議	監査委員の選任 町長施政方針演説 町長提出議案の説明・質疑・討論・採決
	4	火	本会議	一般質問（6人）
	5	水	本会議	一般質問（4人）
	11	火	本会議	補正予算・事件関係議案に対する個人総括質疑・討論・採決
	12	水	本会議	施政方針・条例・新年度予算に対する会派代表質問 委員会分割付託の決定
	13	木	総務建設常任委員会	付託案件の補足説明・現地調査
	18	火	総務建設常任委員会	付託案件の審査（総務所管）
	19	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査（民生部所管）
	21	金	総務建設常任委員会	付託案件の審査（経済建設所管ほか）
	24	月	教育民生常任委員会	付託案件の審査（教育委員会所管）
	27	木	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決 町長提出議案の説明・質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・質疑・討論・採決

人事議案

◎監査委員の選任（賛成全員）

次の方を選任すること
に同意しました。
齋藤 千春 氏（中津）

条例議案

◎水道事業会計予算（以上、賛成全員）

※議長は表決に含まず。

◎愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正（賛成全員）

法律の一部改正に伴い、育児中の職員の時間外及び深夜勤務の制限について、対象となる子の範囲を拡大するなど、所要の改正を行うものです。

【施行期日】

令和7年4月1日

◎愛川町税条例の一部改正（賛成全員）

法律の一部改正に伴い、本条例で引用する同法の条項に移動があるため、所要の引用条文の整理を行うものです。

【施行期日】

令和7年4月1日



上記の2次元コードを読み込むと、スマートフォンやタブレットから当初予算の詳細がご覧になれます。

◎愛川町国民健康保険税
条例の一部改正

(賛成10人、反対3人)

現行の保険税では国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用などが不足するため、令和5年度の見直しに続き、2年ぶりとなる改定をします。

なお、今回の税率改定にあたっては、被保険者の保険税負担に激変が生じないように、令和7年度に限り、特例的な軽減税率を設定し、段階的な見直しを行います。

【施行期日】

令和7年4月1日

◎愛川町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の廃止

(賛成全員)

宅地造成等規制法が一部改正され、新たに宅地造成及び特定盛土等規制法として施行されたことに伴い、当該法律が「愛川町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例」の内容を包含する

ものであることから、本条例を廃止するものです。

【施行期日】

令和7年4月1日

◎愛川町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正

(賛成全員)

中津工業団地第1号公園再整備基本計画に基づき、人工芝の多目的広場を設置するとともに、その使用料を定めるものとす。

【施行期日】

令和7年7月1日

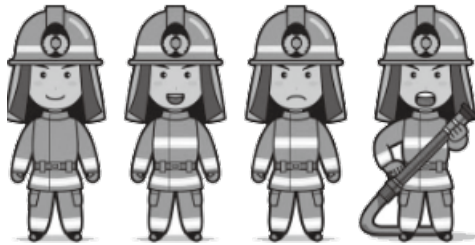
◎愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

(賛成全員)

「非常勤消防団員等に係る損害賠償の基準を定める政令」の一部改正に伴い、補償基礎額が引き上げられ、扶養に係る加算額が変更されたことから、所要の改正を行うものです。

【施行期日】

令和7年4月1日



補正予算

◎令和6年度愛川町一般会計補正予算(第6号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に

それぞれ1億8,477万円を追加し、一般会計の総額を159億4,867万8千円としたものです。

主な内容は、障害者総合支援法に基づく共同生活援助や、放課後等デイサービスなどの利用件数の増加による給付費の増加等を見込んだものです。

◎令和6年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

(賛成全員)

◎令和6年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

(賛成全員)

◎令和6年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第3号)

(賛成全員)

◎令和6年度愛川町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(賛成全員)

◎令和6年度愛川町一般会計補正予算(第7号)

(以上、賛成全員)

年度内に完了の見込みがない事業の経費を翌年度に繰り越して使用する繰越明許費の設定のみで、

事件議案

歳入歳出予算額の増減はありません。

■工事請負契約の変更

◎令和6年度 平山下平線第1工区改良工事

(賛成全員)

変更後請負契約金額

9,878万1,100円

請負契約の相手

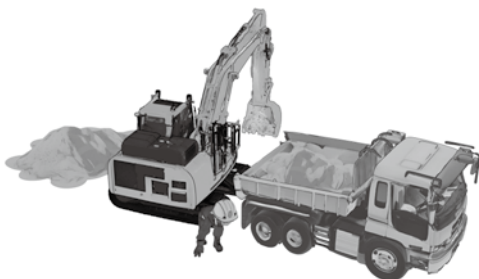
佐藤建設株式会社

変更後工期

令和6年6月21日から令和7年6月30日まで

◎町道路線の廃止・認定

(賛成全員)



道路法の規定により、一般交通の用に供する必要がなくなった2路線を廃止するとともに、新たに町道として管理する必要が生じた3路線について認定したものです。

議員提出議案

◎愛川町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

(賛成全員)

「情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律」の施行に伴う「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に対応し、所要の文言等を整理するため、改正を行うものです。

【施行期日】

令和7年4月1日

令和7年5月15日

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出

(賛成全員)

教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき、すべての子どもたちに学ぶ権利を保障するため、公立・私学の学費格差をさらに改善し、私学助成の一層の充実を要望するため、意見書を提出します。

◎再審法改正を求める意見書 (賛成全員)

えん罪被害者を早く確実に救済するために、再審法を速やかに改正するよう強く要望するため、意見書を提出します。



◎選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

(賛成9人、反対4人)

国会及び政府において、選択的夫婦別姓制度の導入に向けた積極的な議論を行い、選択的夫婦別姓を法制化することを強く

求めるべく、意見書を提出します。



◎「旧姓の通称使用」法制化を求める意見書

(賛成4人、反対9人)

前記の同種の意見書として、旧姓の通称使用拡大推進に関する法律を制定し、官民におけるさらなる通称使用拡大を推進するとともに、国民へ周知徹底することを強く求める意見書は否決されました。

※可決した意見書の詳細は8ページに記載

個人総括質疑

補正予算議案ついて、

茅孝之議員、鈴木議員、茅大夢議員、熊坂議員、渡辺議員、岸上議員の6名が個人総括質疑を行い

ました。質疑項目の一部を紹介します。

施設型給付事業費増額

■増額の詳細について

療養給付費負担金増額

■増額の詳細について

愛川聖苑施設使用料減額

■減額の主な要因について

て

現年課税分増額

■増額の主な要因について

て

新型コロナウイルスワクチン接種事業費減額

■減額の主な要因について

て

社会保障・税番号制度システム整備費等補助金

■補助金の詳細について

2月臨時会

◎令和6年度愛川町一般会計補正予算(第5号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億573万3千円を追加し、一般会計の総額を157億6,390万8千円としたものです。

主な内容は、物価高騰

対応重点支援地方創生臨時交付金の追加に伴う充当事業として、2本立てとなっており、1点目に、低所得者世帯への支援枠分として、国から示された住民税非課税世帯への3万円給付と、同世帯のうち18歳以下の子を扶養している子育て世帯には、子供1人当たり2万円を加算給付するもので、交付限度額1億5,478万円を活用するものです。

2点目には、推奨事業メニュー分の交付限度額6,949万5千円を活用した町独自の支援策で、1人3千円の地域振興券を全町民に配布し、物価高騰に対する支援と地域経済の活性化に努めます。

●陳情(審査の結果机上配付となったもの)

番号	受理年月日	件名	陳情者
2	R6.12.20	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	横浜市中区桜木町 3-9 平和と労働会館 6 階 神奈川県労働組合総連合 議長 住谷 和典
3	R7.1.14	議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情	東京都八王子市館町 1821-122 伊藤 豪
4		市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情	
5	R7.2.3	従来(紙)の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の陳情	横浜市中区太田町 6-84-2 大樹生命ビル 4 階 ユーコープ労働組合 中央執行委員長 積 哲也
6		訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出の陳情	
8	R7.2.10	従来(紙)の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の陳情	厚木市三田 2-13-18 神奈川土建一般労働組合厚木支部 執行委員長 高橋 政雄 ほか
9	R7.2.12	従来(紙)の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の陳情	横浜市新奈川区鶴屋町 2-23-2 TS プラザビルディング 2 階 神奈川県保険医協会 理事長 田辺 由紀夫

陳情のゆくえ

会派代表質問

本会議5日目の3月12日は、町長の施政方針等に対し、会派代表質問を行いました。内容の一部を紹介します。

愛川の新時代

(花上 功議員)



問

経常的経費の増加抑制について

町長 健全な財政運営を維持する。

本町は、厳しい財政状況の中で、効果的で能率的な行財政運営を進め、経常的経費を抑制しながら、住民サービスを維持・改善しています。さらに事業の見直しを通じて費用の削減に取り組み、新規事業は費用対効果や持続可能性を加味しながら選択しています。

また、事務事業評価に基づく高齢者ミニデイスサービスの縮小や利用が少ない交通事故相談事業の廃止など、創意工夫や制度の見直しにより、本町の活力や魅力を高め、誰一人取り残さないまちづくりを推進するために、

問

カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みについて

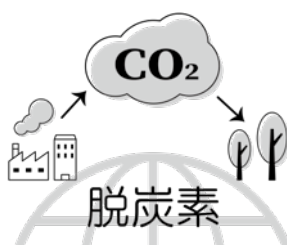
町長 ゼロカーボンシティ宣言を行い、脱炭素に向けた取り組みを進める。

国では、2050年までのカーボンニュートラル実現を目指し、GX推進法の施行や、長期的な方向性を示すGX2040ビジョンを公表しました。

こうした中、本町は環境基本条例の理念に基づき、スマートエネルギー設備の補助のほか役場庁舎周辺の各施設で、ESCO事業の活用による省エネ性能に優れた空調や照明機器への更新を行うなど、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。

また、森林組合との連携で、良好な森林管理によるCO2吸収量の増強にも努め、町民や事業者

とともに意識の醸成が図られるようゼロカーボンシティ宣言を行い、脱炭素に向けた取り組みを進めます。



令和あいかわ

(阿部 隆之議員)



問

耐震改修促進計画の見直しについて

町長 耐震化に向けた取り組みを進める。

建築物の耐震化は、阪神・淡路大震災をきっかけに制定された法律に基づき、本町は平成21年度に計画を策定し、その後、平成28年度と令和3年度に改定しています。令和8年度に見直し時期を迎

問

第1号公園プールのあり方について

町長 全体的見合いの中で、今後のあり方も含め総合的に検討する。

第1号公園プールは、昭和47年7月にオープンして以来、これまで52年間、多くの町民に利用されてきました。

しかし、少子高齢化の進行をはじめ、生活様式やスポーツの多様化などに加え、近年は酷暑の影響もあり、同プールの利用者は年々減少傾向となっています。



えるため、令和7年度には現行計画の成果の分析や法令との整合性の確認、他自治体の先進事例などを参考に耐震化に向けた取り組みを進めます。

また、設備の老朽化も進み、プール本体やプールサイドのゴムチップのほか、ろ過器や循環ポンプ、給排水管などの改修が必要で、多額の維持経費が見込まれます。さらに管理業務委託料などの運営経費についても、物価高騰の影響などにより増加傾向となっています。

こうしたことから令和7年度は運営を休止し、現在取り組んでいる第1号公園再整備事業の全体的見合いの中で、今後のあり方も含めて総合的に検討していきます。



第1号公園プール

令和7年5月15日

公明党

(佐藤 りえ 議員)



問

高齢者福祉の充実における、いきがい対策の取り組みについて

町長 高齢者福祉の充実を図る。

町では、高齢者の生きがいを促進し、認知症予防や健康維持、フレイル予防に効果的な支援を行っています。令和7年度では、防災講話や趣味の教室、スポーツ大会、世代間交流事業を予定しています。また、アクティブシニア講座ではスマホ教室や和太鼓教室などを提供し、社会情勢やニーズに応じた新たな取り組みを進めます。さらに、シルバー人材センターや老人クラブの支援、地域活動の講師派遣を通じて、高齢者福祉の充実を図ります。



問

「まちづくりと子育てに注力した未来へつなげる積極型予算」になっていますが、町長の思い描く未来について

町長 ふるさと愛川の魅力を高め、常に郷土愛と情熱を持って取り組む。

これまで、自然や産業を活かした町づくりを進め、地域資源と恵みを生かしながら、町民の皆さんに満足感が享受できるように、誰一人取り残さない町づくりに鋭意努力を続けています。また、子供から高齢者まで町民の誰もが健康で笑顔で触れ合い、あらゆる世代が安心して輝けるような社会の実現を目指します。

また、水源地跡地を活用した拠点づくりや桜の植栽プロジェクトにも取り組み、未来を見据えた中で町内外からも多くの人や家族連れなど、子供たちの明るい声が響き渡るような町となるよう、受け継がれてきた美風人心と自然を守り続け、計画行政の中で様々な地域資源を磨き上げながら、ふるさと愛川の魅力を高め、常に郷土愛と情熱を持って取り組めます。

日本共産党愛川町議員団

(小林 敬子 議員)



問

第2号公園に隣接する水道みちにパイパードを設置する取り組みについて

町長 様々な工夫を凝らしながら、憩いの場となる道路の景観形成と環境美化に努める。

本町では、第2号公園先から車検場ロータリーまでの区間にある水道み



ちの中央分離帯5カ所、約2,700平米を活用し、令和4年度から季節の草花を植栽するフラワーロードとして、道路の景観形成と環境美化に努めてきました。このフラワーロードのさらなる魅力の創出にあたり、令和7年度は趣向を凝らし、町農業委員会において試行的に栽培の研究を行っているパイパヤを植栽し、季節の草花に加えて新たな彩りを添えたいと思います。

また、植栽等にあたり、町農業委員会と連携し、適した土壌の整備や定期的な施肥と適度な水やりを行います。今後もパイパヤの生育などを検証し、様々な工夫を凝らしながら、景観形成と環境美化に努めます。

生徒が新たな環境に早く慣れ、不安を感じるものがなく、楽しい学校生活が送れるよう、引き続き必要な支援の充実にも努めます。

問

外国籍児童・生徒への教育支援の考えについて

町長 引き続き支援の充実に努める。

本町では日本語指導を必要とする児童・生徒が在籍する学校に対して、指導協力者を派遣し、母国語を交えた学習指導や、生活・学習面、家庭との連絡など、様々な指導を行います。

本町を含む各自自治体の広報紙を閲覧できる無料アプリ『マチイロ』でも「議会だよりあいかわ」をお届けしています。左記にある2次元コードから専用ページにリンクします。ぜひご活用ください。



『声の議会だより』

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

TEL 046-285-

2111

(内線3792)

常任委員会での審査

条例議案や令和7年度当初予算の審議をより詳細に行うため、各常任委員会において、現地調査及び質疑を行いましたので、その内容の一部を紹介します。

総務建設常任委員会

付託された条例及び予算の審査は、3月13日に補足説明と現地調査を実施し、18日及び21日に、各議案に対する質疑を行いました。



町政70周年記念特別企画実施経費

問 「ええ町70お楽しみ抽選会」開催経費の詳細について

答 この事業は、町政70周年のPRを兼ねた「抽選番号付き70周年記念レター」を全世帯に配布し、抽選会を実施するもので、愛川ブランド引換券等を景品として用意するほか、

当選者以外にも、記念レターをご持参いただいた方には防災関連グッズを配付する予定です。

経費の詳細は、景品代965万円に加え、記念レターや愛川ブランド引換券の印刷経費5万3千円、記念レターや抽選当選通知に係る郵送料178万7千円のほか、事業実施に伴う関係消耗品代や愛川ブランド引換券利用による事業者への振込手数料32万8千円を加え、合計1,181万8千円を計上しました。

配水管整備改良工事費

問 町内4箇所の詳細について

答 三増志田地区のバイパス管布設工事は、令和6年度に布設したバイパス管布設工事の続きとなり、志田第二配水池から志田第一配水池へ補水を行うことができる口径150ミリのバイパス管の布設工事です。両配水池は愛川町水道事業の主

力施設であり、バイパス管の新設で安定した配水が図られます。



志田第一配水池
電動弁設置工事の調査

教育民生常任委員会

付託された条例及び予算の審査は、3月13日に補足説明と現地調査を実施し、19日及び24日に、各議案に対する質疑を行いました。



戸籍住民基本台帳一般管理費

問 書かない窓口関連事業費の詳細について

答 本事業は、住民課窓口での諸手続時に、届出人のマイナンバーカードや免許証、在留カードの情報機械で読み取り、住所、氏名、生年月日を印字した申請書や異動届を作成するシステムを導入するものです。申請書等の記入が不要となることで利用者の利便性向上と誤記対応等を減らすことにより、窓口事務の効率化を推進します。

事業費の詳細は、住民異動や諸証明発行受付用端末4台の導入委託料が656万9千円、マイナンバーカード関連の申請書を作成する自動申請書作成システム2台の導入業務委託料が405万5千円、書かない窓口システムの導入による窓口レイアウトの変更に伴い、窓

口カウンタ、フロアパーテーションの購入費45万2千円、電源・LAN配線設置等工事費が17万9千円で、合計1,125万5千円を計上しました。

郷土資料館維持管理経費

問 令和6年度より大幅増額となった理由について

答 主に郷土資料館の照明器具を全てLEDへ取り換える工事を実施することによるものです。



郷土資料館照明器具
LED化改修工事の調査

令和7年5月15日

国へ意見書を提出

※意見書の内容は一部抜粋して掲載しております。

詳細は
こちらから

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出

(賛成全員)

国に私学助成の拡充を求める意見書

年収590万円以上世帯の学費負担軽減と、私学の学費負担の自治体間格差解消をめざし、国の責任で授業料無償化世帯・支給対象拡大などの拡充が求められる。

一方、私立学校の経常費助成金の大幅な増額も必要である。とりわけ、私立学校においては「少人数学級」と「専任教諭増」の実現は、早急に取り組まなければならない喫緊の課題である。私立学校が公教育として重要な役割を担っている立場から、1975年「私立学校振興助成法」成立時の附帯決議に記された「2分の1助成」を速やかに実現されることを強く求める。

憲法第26条等、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき、公私の学費格差をさらに改善し、すべての子どもたちに学ぶ権利を保障するため、私学助成の一層の増額を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和7年3月3日

内閣総理大臣、財務大臣、
文部科学大臣、総務大臣 殿

◎再審法改正を求める意見書の提出

(賛成全員)

再審法改正を求める意見書

えん罪は、最大の人権侵害の一つである。えん罪被害者を救済するためには、捜査機関の手にある証拠を利用できるよう、これを開示させる仕組みが必要であるが、現行の再審に係る規定にはそのことを定めた明文の規定が存在せず、再審請求手続において証拠開示がなされる制度的保障はない。

再審開始決定という、いわば中間的な判断に対して検察官の不服申立てを認めることは、法改正により制限するべきである。

えん罪被害者を早く確実に救済するために、次の事項を含む再審法を速やかに改正するよう強く要望するものである。

1 再審請求手続における証拠開示を制度化すること。

2 再審開始決定に対する検察官の不服申立てを禁止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和7年3月27日

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、法務大臣 殿

◎選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出

(賛成9人、反対4人)

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

政府は通称使用の拡大に向けた取り組みを進めているが、ダブルネームを使い分ける負担や管理コストの増加、更に国際社会での混乱を招いている。

選択的夫婦別姓制度は、こうした問題を解決し、誰も改姓による不利益、苦痛を感じることなく結婚・出産でき、老後も法的な家族として支え合い、更には「自分の名前で生きたい」という人権、且つ、個人のアイデンティティを尊重できる社会の実現のためにも、選択的夫婦別姓を、家族の在り方の議論としてではなく、国民一人一人が活躍できる社会を実現することは国の責務である。

国会及び政府において、こうした社会状況を真摯に受け止め、民法を改正し、選択的夫婦別姓の法制化することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和7年3月27日

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
総務大臣、法務大臣、内閣府特命担当大臣 殿

討

論

各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

賛成

愛川の新時代
熊坂健太郎議員



討論動画

【全議案に対し、賛成の立場で意見等を交えながら討論】

マイナンバーカードな

どの本人確認書類を利用し、申請書に住所、氏名、生年月日が印字されることで、申請書類作成の負担軽減や受付時間の短縮などが図られるため、書かない窓口の早期導入を期待しています。

桜台小沢線「いこいのベンチ設置」について、

令和6年12月定例会の一般質問で提言後、すぐに予算化した姿勢を評価します。高齢者だけでなく、町民が歩いて暮らせるまちづくりへの一助になるように期待します。

新年度から新たに、地域住民の助け合い活動の推進の一環として「外出支援事業」を展開され、高齢者を地域で助け合う

取り組みは、ますます重要になると思いますので評価します。

賛成

令和あいかわ
阿部 隆之議員



討論動画

【全議案に対し、賛成の立場で意見等を交えながら討論】

本町では、病児保育事業費補助金や小・中学校

修学旅行補助金、学校給食における物価高騰対策をはじめ、高齢者においては、バス割引乗車券購入費助成及びタクシー助成や、助け合い外出支援推進事業を展開します。また、若年がん患者在宅療養支援事業や半原分署長寿命化改修工事をはじめ、スムーズな救急搬送が行えるマイナ救急実証事業への参加、犯罪の未然防止のための住宅用防犯対策助成金など、数多くの新規事業を予定し、予算編成方針に示された

まちの活力や魅力を高め、

安心して暮らすことができ、明るい未来を紡ぐ町民本位の事業へ重点的に配分がされていることを評価します。

賛成

公明党
岸上 敦子議員



討論動画

【全議案に対し、賛成の立場で意見等を交えながら討論】

町政70周年記念事業では、プレゼント抽せん会

や、町観光キャラクターあいちゃんとの写真撮影コーナーを設置するあいかわ公園つつじまつり等の4つの冠事業、1人3千円分の地域振興券を全町民に配布する事業ほか7つの特別企画、NHK全国放送公開番組の公開収録ほか4つの民間事業者等との連携事業が展開されます。地域の皆様と70周年を共に祝うことは大変意義深いものと感じています。

防災訓練事業では、水

害を想定した総合防災訓練が実施されます。一人でも多くの方がこの訓練に参加できるよう、周知徹底をお願いします。

防災関連において、会

派で視察したトイレトレーニングは、自治体・企業・団体が連携し、相互にトイレ設備を貸し借りできる仕組みで、被災地の劣悪な環境による災害関連死を防ぐことも期待されています。導入を検討されますことを切に願います。

第2号公園に設置されたバスケットゴールは他地区への設置希望もあることから、田代運動公園や旧半原水源跡地内への設置検討を要請します。

賛成

日本共産党愛川町議員団
鈴木 信一議員



討論動画

【国民健康保険及び後期高齢者医療特別会計の予算案を除き、賛成の立場で討論】

厚木愛甲環境施設組合のごみ中間処理施設が令和7年12月から稼働することに伴い、粗大ごみ等運搬業務委託料を3月までの4カ月間（1日1往

復分）見込んでいますが、同時に購入する重機の機能を最大限活用し、経費の節減を期待します。

第1号公園の再整備をはじめ、第2号公園の屋

外トイレ外壁等塗装や暖房温水洗浄機付きの便座に変更のほか、田代運動公園自由広場屋外トイレの洋式化など、利便性向上が図られることは大いに評価します。

第2号公園に設置されたバスケットゴールは他地区への設置希望もあることから、田代運動公園や旧半原水源跡地内への設置検討を要請します。

半原分署庁舎長寿命化改修事業は、消防職員が万全の体制で職務遂行及び機能性や即応能力の向上が図られることが期待

できます。



令和7年 第1回(2月)臨時会議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第1号	令和6年度愛川町一般会計補正予算(第5号)	可 決

令和7年 第1回(3月)定例会議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第2号	監査委員の選任について	同 意
町長提出 第3号	愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第4号	愛川町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第5号	愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第7号	愛川町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例を廃止する条例の制定について	可 決
町長提出 第8号	愛川町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第9号	愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第10号	令和6年度愛川町一般会計補正予算(第6号)	可 決
町長提出 第11号	令和6年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可 決
町長提出 第13号	令和6年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可 決
町長提出 第14号	令和6年度愛川町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可 決
町長提出 第15号	令和7年度愛川町一般会計予算	可 決
町長提出 第18号	令和7年度愛川町介護保険特別会計予算	可 決
町長提出 第19号	令和7年度愛川町公共下水道事業会計予算	可 決
町長提出 第20号	令和7年度愛川町水道事業会計予算	可 決
町長提出 第21号	工事請負契約の変更について(令和6年度平山下平線第1工区改良工事)	可 決
町長提出 第22号	町道路線の廃止について	可 決
町長提出 第23号	町道路線の認定について	可 決
町長提出 第24号	令和6年度愛川町一般会計補正予算(第7号)	可 決
陳 情 第1号	「再審法改正を求める意見書」採択に関する陳情	採 択
議員提出 第1号	愛川町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議員提出 第2号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出について	可 決
議員提出 第3号	再審法改正を求める意見書の提出について	可 決

●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議員名 議案等の件名	愛川の新时代					公明党		日本共産党 愛川町議員団			令和あいかわ		議決結果			
		渡 辺 基	山 中 正 樹	花 上 功	熊 坂 健 太 郎	茅 大 夢	佐 藤 り え	井 出 一 己	岸 上 敦 子	鈴 木 信 一	井 上 博 明	小 林 敬 子	茅 孝 之			小 島 総 一 郎	阿 部 隆 之
町長提出 第 6 号	愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません	○	●	●	●	○	○	○	可	決
町長提出 第 1 2 号	令和 6 年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○		○	●	●	●	○	○	○	可	決
町長提出 第 1 6 号	令和 7 年度愛川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○		○	○	●	●	○	○	○	可	決
町長提出 第 1 7 号	令和 7 年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○		○	○	●	●	○	○	○	可	決
陳 情 第 7 号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを要望する陳情	○	○	●	○	○	○		○	○	○	○	●	●	○	採	択
議員提出 第 4 号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出について	○	○	●	○	○	○		○	○	○	○	●	●	●	可	決
議員提出 第 5 号	「旧姓の通称使用」法制化を求める意見書の提出について	●	●	○	●	●	●		●	●	●	○	○	○	否	決	

※議案の内容はP2～4を参照

一般質問

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧ください。
なお、3月定例会の会議録は、6月中には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。

**茅 孝之 議員 P.11**

・組織・機構改革について

花上 功 議員 P.12

・移動販売事業について

井上 博明 議員 P.12

・物価高騰から町民の暮らしを守る取り組みについて ほか

鈴木 信一 議員 P.13

・学校給食費無償化を実施する考えについて ほか

渡辺 基 議員 P.13

・勤怠管理システムについて ほか

熊坂 健太郎 議員 P.14

・下水道管の老朽化対策について ほか

小林 敬子 議員 P.14

・役場庁舎をはじめとした公共施設への太陽光発電設備の導入について ほか

岸上 敦子 議員 P.15

・乳幼児における子育て環境の充実について ほか

佐藤 りえ 議員 P.15

・男性の育児参加支援について ほか

茅 大夢 議員 P.16

・企業版ふるさと納税について



©愛川町

デジタル推進課長 文章の作成や要約のほか企画立案の支援等を行い、行政事務を効率化し生産性を飛躍的に高められると認識しています。一方、情報漏えいなどの危険性も指摘されることから、国や他自治体の動向を注視し研究を進めます。

生産性を高められる
情報漏えいの危険性

問 ここ数年の社会の中で生成AIが活用等されています。行政の仕事では、情報の収集や分析などに役に立つものと考えますが、生成AIの活用に対する考えについて伺います。

生成AI※の活用へ
情報収集に役立つ



かや茅



たかゆき
孝之 議員



生成AI（人工知能）導入で変わる自治体

※生成AI：データから学習したパターンや関係性を活用し、新たにコンテンツを生み出す。

町長 本町では、限られた人員や財源の中で様々

住民ニーズ的確対応
必要に応じ改革必要

問 令和6年4月より総務部を分割し、財務部が設置されました。この機構改革により、得られた成果や課題を洗い出し、今後の組織体制の構築に向けた執行体制の確立が期待できるものと考えます。今回の組織・機構改革を踏まえ、更なる見直しの考えについて伺います。

な課題や多様化する住民ニーズに的確に対応すべく、組織・機構改革を行っています。そうした中で、年々財政規模が大きくなり、多岐にわたる財政需要を抱える中で、財務部を設置し、デジタル推進課、政策秘書課、住民協働課を新設し大幅な見直しを行いました。

今後、より加速する少子高齢化社会に伴い、必要に応じた組織機構の改革は必要なものと考えています。

組織機構改革の更なる見直し

令和7年5月15日

移動販売事業
巡回場所拡大はなうえ いさお
花上 功 議員

問 昨年6月から、株式会社いなげや協力のもと、町内全域を対象に移動販売事業がスタートしました。そこで巡回場所の拡大について伺います。

運用できる上限
より密な情報交換

町長 新たな巡回設定にあたっては、事業者より、現在は販売車両1台で運用できる上限に達している状況にあるものの、できる限り地域の要望に応えられるように検討したいとの話をいただいていることから、より密な情報交換を行っていきます。

事業者への支援を検討

問

全国的に多くの自治体で移動販売事業者への支援を行っています。買い物難民を救うため、移動販売を確立するためには、事業者への支援を検討する必要がありますが、国からの支援も含めた事業者への支援の考えを伺います。

買い物弱者対策
補助制度の創設

民生部長 現在、国のデジタル庁や経済産業省など多くの省庁において、自治体や事業者を対象とした買い物弱者対策に利用可能な各種補助制度の創設が進められていますので、買い物環境の充実や事業者への支援に繋がれるように、活用を検討していきます。



移動販売車「とくしまる」

半原水源地跡地
今後の取り組みいのうえ ひろあき
井上 博明 議員

問 半原水源地跡地の利活用について、今後の事業化に向けた取り組みを伺います。

神奈川トヨタと連携
事業化に向け加速

町長 機会あるごとにトップセールスに努めており、そうした中、神奈川トヨタ自動車より敷地の一部にアウトドア関連施設などの整備をしたい旨のご提案をいただきました。今後は、まずは神奈川トヨタ自動車と協定を締結し、具体的な協議を進めながら、より魅力的な施設となるよう、事業化に向けた取り組みを加速させていきます。

「子育て支援対策」

0～2歳の保育料無償化

問

0～2歳の保育料を無償化する考えについて伺います。

保育料の無償化
国で実施の必要

町長 保育料と学校給食費の無償化の波が押し寄せており、これを巡っては自治体間の競争や地域格差に及んでいるのが実情です。

本町においては、保育料や給食費を含めた無償化については国が手を

打っていく必要があると感じています。

【その他の質問項目】
物価高騰から町民の暮らしを守る取り組みについて



町長 無償化には毎年1億3千万円の予算が経常的な経費になり、財源確保が課題となります。全国一律に恩恵が受けられるよう、学校給食費無償化は国が先頭に立って実施すべきと考えており、現時点においては考えていません。引き続き、国の動向を注視するとともに、保護者の負担軽減につながる施策事業を適時適切に行います。

国の動向を注視する 物価高騰分補助継続

問 本町においても学校給食費の無償化に踏み切る考えを伺います。

小中学校給食費 無償化への考え



すずき 鈴木

しんいち 信一 議員



町長 平成30年度の改革により、国民健康保険制度は都道府県単位での広域運営となりました。財政運営の責任主体となった神奈川県において、健全

保険料水準統一を図る 独自の減免制度困難

問 町民から国民健康保険税の引き下げを求める声が寄せられています。18歳以下の均等割を免除する考えについて伺います。

「国民健康保険」 18歳以下均等割免除の考え

で安定した財政運営が行えるよう、『国民健康保険運営方針』を策定し、県内市町村と連携しながら様々な課題の解決に向けた取り組みを進めています。令和18年度の保険料水準の統一を見据えた場合、独自の減免制度を継続することは難しく、同8年度の赤字解消期限を目前に控えた中では、子どもに係る均等割の減免制度を創設することは難しいものと認識しています。



学校給食

町長 出勤状況や労働時間を一元的に管理でき、職員の勤務時間の適正な管理が可能となるほか、これまで毎月手作業で行っていた時間外勤務やパートタイム会計年度任用職員の勤務時間の集計作業が自動化されることで、事務処理の効率化が図られます。

勤務時間の適正管理 事務処理の効率化

問 昨年11月から勤怠管理システムを導入し、出勤状況や労働時間の一元的な把握ができるようになりましたが、その詳細と導入の効果を伺います。

勤怠管理システム 詳細と導入の効果



わたなべ 渡辺

もとゐ 基 議員



教育長 水泳授業の円滑な運営と児童の泳力向上の双方を実現できる方策として、令和7年度から試行的に民間のスイミングスクールを活用します。

民間スクールの活用 総体的な在り方検討

問 全国的な猛暑により夏季に行われる屋外プールでの水泳授業を中止せざるを得ない学校が増加しています。そこで今後における学校プールや水泳授業の在り方について伺います。

問

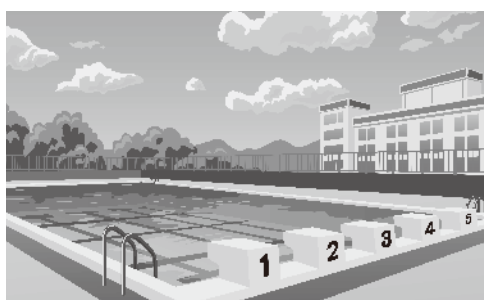
全国的な猛暑により夏季に行われる屋外プールでの水泳授業を中止せざるを得ない学校が増加しています。そこで今後における学校プールや水泳授業の在り方について伺います。

学校の水泳授業の在り方

今後は、この試行事業を検証しながら、運営面の課題や経費など、様々な課題を整理し、総体的な在り方について検討します。



勤怠管理システム



令和7年5月15日

危険事故も損壊の対策



くまさか けんたろう 議員
熊坂 健太郎 議員



問

下水道管が整備
されてから長期間
使用されているものも
あり、破損による事故
も危惧されます。そこ
で、下水道管の老朽化
対策について伺います。

管路の点検・調査 改築や補修を実施

町長 平成28年度から
テレビカメラによる管
路の点検と調査を順次
進めており、その中で
早期の対応が必要と
なった管路については、
改築や補修などを行い、
良好な下水道機能の維
持に努めています。

バスケットコート の管理運営

問

令和6年10月に
第2号公園バス
ケットコートがオープ
ンし、子供から大人まで
大勢の人が利用してい
ます。バスケットボール
の人もあり、今後多く
の利用が見込まれま
すが、第2号公園バス
ケットコートの管理運
営について伺います。

注意喚起の看板設置 事故防止等に努める

町長 コートの利用時間
は、4月から9月までは

午前8時30分から午後6
時まで、10月から3月ま
では午前8時30分から午
後5時までとしており、
この時間内であればど
なたでも無料で自由に
ご利用いただけます。

なお、利用者が安全で
楽しくプレーができるよ
うに、コート内には注意
喚起の看板を設置し、利
用者のマナー向上や事故
防止に努めています。



第2号公園バスケットコート

太陽光発電設備 公共施設へ導入



こばやし けいこ 議員
小林 敬子 議員



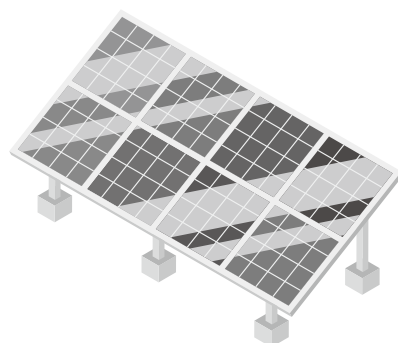
問

公共施設への太
陽光発電設備の導
入の考え方、※PPA等
の第三者所有により初
期費用が不要となる同
設備の導入の考えにつ
いて伺います。

大規模改修時に検討 総合的に判断が必要

町長 公共施設への太陽
光発電の設備の導入は、
各施設の大規模改修や建
て替えといった機会を捉
え、引き続き検討します。
財務部長 PPAは、発
電事業者へ支払う電気
料金等に乗せて支払
うことのほか、建物の
補強工事など別途費用
の課題もあるため、導

入手法や費用対効果な
ど総合的に判断してい
く必要があります。



※PPA (Power Purchase Agreement)
施設所有者が提供する敷地や屋根等に、事
業者が太陽光発電設備を設置し、発電され
た電力を有償提供する仕組み。

荒廃農地等解消の取り組み

問

住民から荒廃農
地等の解消を求め
る切実な声があります
が、その取り組みにつ
いて伺います。

担い手育成事業体 新規就農者増に期待

町長 本町では、担い手
への農地利用の集積や集
約化をはじめ、遊休農地
の発生防止や新規参入者
の促進などの取り組みを
進めています。

また、有機農業者の増
加やこの農業者が生産す

る有機野菜の評判などにより、荒廃農地の再生と
有機農業や自然農法の担
い手育成事業体が本町に
進出しています。

この事業体で育った新
規就農予定者が荒廃農地
を同様の活用方法で利用
する方針であるなど、荒
廃農地の解消に向けた新
たな取り組みとして期待
しています。

【その他の質問項目】

八菅山いこいの森駐車
場から鳶尾山入口までの
町道について

町長 人権啓発のつどいの開催や街頭キャンペーン、町の広報紙やホームページなど様々な形で意識の醸成を図っています。令和5年には、アンコンシャスバイアスの理解を深めるため「無意識の思い込みをなくそう」をテーマとした講演会を行いました。

意識の醸成を図る 令和5年に講演会

問 本町における性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）に対する認識と解消に向けた取り組みについて伺います。

アンコンシャス・バイアス 解消への取り組み



岸上 きのがみ



あつこ 敦子 議員

町長 入院養育を必要とする1歳未満の乳児に対し医療費を助成しているほか、退院後の面接と訪問を通じた支援や「かながわりトルベビーハン

1歳未満医療費助成 環境づくりに努める

問 40年前に比べるが増加している傾向にある低出生体重児（リトルベビー）に対する支援について、伺います。

低出生体重児に対する支援

ドブック」を活用した保健師による「赤ちゃん訪問」の際に適切な助言を行っています。今後も低出生体重児を育てる保護者が育児不安に陥ることのないよう、医療機関などとも連携を図りながら、寄り添った支援を継続し、誰もが安心して出産・子育てができる環境づくりに努めていきます。



かながわりトルベビーハンドブック

町長 全国の先進自治体の取り組みなど参考にした国や県の補助金の活用等を含め調査をしてきましたが、これまでに町民から助成に関する意見や要望等も寄せられていないこともあり、実施には至っておりません。

補助金の活用調査 意見・要望等なし

問 がん患者の不安を和らげ、日常生活が送れるようサポートする医療用ウィッグやかつらの購入費助成に対する進捗状況について伺います。

医療用ウィッグ かつら購入費助成



さとう 佐藤



りえ 議員



町長 現在、妊婦とパートナーを対象としたマタニティセミナーで父親となる心構えの醸成を図るとともに、出産後は「赤ちゃん」とパパとママの教

総合的な相談の受付 官民連携での子育て

室」や「すくすく親子相談教室」などを通じ、育児に関する不安を解消するための相談支援等に努めています。土曜サロンを実施するとともに、子ども家庭総合支援拠点で専門職員により子育てに関する総合的な相談を受け付けています。今後も官民連携し子育て世代の様々な悩みに寄り添い、男性の育児参加が地域で深く理解・普及するよう努めます。

問 共働き世帯の増加により、男性の育児相談支援などが重要になると考えます。これまでの取り組みと今後の推進について伺います。

男性の育児相談支援は重要

ふるさと納税 企業版の成果



かや 茅 ひろ 夢 議員



問

企業版ふるさと納税が令和5年度に導入されてから約2年が経過しています。これまでの成果と今後の課題について伺います。

金員3社と物品3社 引続き積極的なPR

町長 金員による寄附として3社から1,210万円、物品による寄附として3社から衛星携帯電話4台をいただきました。より多くの企業に趣旨をご理解いただけるよう、引き続き積極的なPRに努めていきます。

プロジェクト設定すべき

問

寄付を募る中で、町が策定した地域再生計画を公表しています。他の自治体では、地域再生計画とは別に寄付募集事業があり、個性あふれるプロジェクトが沢山出てきます。本町でも地域再生計画とは別に具体的なプロジェクトを設定するべきだと考えますが、町の考えを伺います。

全ての事業を対象 今後は引き続き検討

政策秘書課長 本町の企業版ふるさと納税は、企業が寄附の活用を希望する事業に幅広く対応できるように、総合戦略に掲げる全ての事業を対象とする包括的な地域再生計画としているため、特定の事業のみを指定したプロジェクトは現在のところ行っていない。今後は、引き続きそれについても検討していきたいと考えています。

企業版ふるさと納税で町政70周年を応援してください！

●企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)について

愛川町が行う地方創生の取組に対して企業の皆様から寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。

企業負担 約3割 最大6割 約1割

企業のメリット

- 寄附額の最大約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます！
- 地方創生・社会貢献に寄与する企業としてPRができます！
- 愛川町との新たなパートナーシップの機軸につながります！

● 要件等

- ・愛川町内に本社がある企業の皆様からの寄附が対象です。
- ・※本社・地方税法における「主たる事務所又は事業所」
- ・1回あたり10万円以上の寄附が対象です。
- ・寄附の代償として商品や経済的な利益を受けることは禁止されています。

● 寄附の流れ

- 1 寄附の申し込み(寄附申込書の提出)
- 2 寄附金の払い込み
- 3 町から受領証の交付
- 4 税務申告

制度や事業の詳細、愛川町 総務部 政策秘書課 企画政策課
〒243-0392 神奈川県愛川町青森251番地1
TEL: 046-2331-6124 (直通) E-mail: seisaku@town.aikawa.kanagawa.jp

企業版ふるさと納税

議員研修会

愛甲郡町村議会 議員研修会

■ 日付 2月10日
■ 場所 清川村役場



研修会の様子

町村議会 広報クリニック

■ 日付 2月14日
■ 場所 全国町村議員会館

出席議員

花上 功 議員
熊坂 健太郎 議員

講師

熊本大学客員教授
越地 真一郎 氏

研修テーマ

「読む！質す！生かす！～反転・討論型クリニック～」

■ 講師
青森大学社会学部教授
佐藤 淳 氏

研修テーマ

「住民との対話」
新たな意見交換会の開催方式である「ワールドカフェ方式」及びカードを用いた実施方法についての説明を受けました。



クリニック受講時の様子

第34回議会クイズの 答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

正解

問1・②
問2・②
問3・③

当選者

後藤 淳也 様
渡辺 幸枝 様
森崎 諒 様
以上3名

議会事務局職員人事異動 及び班の統合のお知らせ

【人事異動】

4月1日付
(新) 議会事務局技手

森屋 卓
(旧) 農政課主任主事
高橋 直輝

【組織編制】

「庶務班」と「議事班」を統合し「議会総務班」となりました。

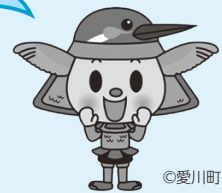
第35回 議会クイズ

問1 愛川町第1号公園に人工芝の多目的広場が設置されますが、1面2時間の使用料はいくらでしょうか？
①150円 ②1,500円 ③15,000円

問2 2月の臨時会で採択された補正予算の中で、全町民に配布する地域振興券は、一人いくらでしょうか？
①3,000円 ②6,000円 ③9,000円

問3 令和7年6月21日に行う意見交換会は、何という方式で開催するのでしょうか？
①ワークショップ方式 ②ワールドカフェ方式 ③ブレインストーミング方式

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。



©愛川町

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また**必ず**議会だよりの感想（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 5月31日（土）（郵送の場合は当日消印有効）

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392
角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
●オンラインでの場合 右記の2次元コードを活用して、応募ができます。

☆正解と当選者は次号で発表します。

愛川町議会初！ワールドカフェ方式で
意見交換会開催

町議会では、基本条例に基づき、これまで町民の皆様と意見交換会を開催してきました。ご参加された方々のご意見をいただき、今回初となる「ワールドカフェ方式」の意見交換会を開催します。参加には申し込みが必要となりますので、左記の方法で申し込みください。

■日時 令和7年6月21日（土）

午後3時～午後4時50分

■場所 愛川町役場 4階談話室

■テーマ 「10年後の愛川町の未来について」

■申し込み方法

※氏名・お住まいの行政区・連絡先（電話番号またはメールアドレス）を必ず明記願います。

・電話 046（285）6927

・FAX 046（286）5021

・電子メール gikai@town.aikawakanagawa.jp

・オンライン申込は下記二次元コード

■申込締切 5月31日（土）

■定員 先着28名



ワールドカフェ方式とは、参加者が複数のテーブルに分かれて、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で気楽に対話できる「ワークショップ型」の意見交換会です。これまでの意見交換会では、すべての参加者が発言することが難しかったことから、この方式を先進自治体の視察や研修を通して研究しました。

令和7年第2回6月定例会日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8
本会議 (提出議案の説明)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)			
9	10	11	12	13	14	15
総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会			本会議 (総括質疑、 討論、採決)		

次回、第2回6月定例会の日程は左表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は5月23日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

次回定例会
のお知らせ



「あいかわ・ほっこい写真館」

木々の緑が力強く色づく新緑の季節となりました。
 本号でも、担当する委員一人ひとりが自然あふれる愛川町の魅力を
 町民皆さまにお伝えするため、写真を撮影してきました。
 それぞれの写真を見て、心が「ほっこり」していただければ幸いです。



どうやるの？教えて～



あいかわ公園でひとやすみ



ハートの形に見えるでしょ



下谷の梅



春を呼ぶ冬の花



山と川と鮎釣り



新緑と太陽



私にもできたコマ回し
ほらっ！



八菅山いこいの森
高台でひとやすみ

◎議会クイズは17ページに掲載しています。

議会だよりあいかわ第186号は、令和7年7月15日発行・配布予定です。

編集後記

第39回町村議会広報全国コンクールに応募しました。提出した議会だより182号に対し、「2色使いだがシンプルに見やすい」と評価された一方で、「全体的に堅い感じがする」と指摘を受けましたので、今後改善したいと思っています。また、昨年開催した意見交換会では、ご意見・ご要望が多岐に渡り適切に集約することができませんでした。この反省から6月の意見交換会は新たな方法で開催します。詳細は、17ページをご覧ください。今後も広報広聴活動の更なる充実に努めてまいります。

広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 信一
 副委員長 熊坂健太郎
 委員 茅 孝之
 委員 花上 功
 委員 岸上 敦子
 委員 佐藤 りえ
 委員 阿部 隆之
 委員 小林 敬子